

2017年3月31日

報道関係者各位

アートフェア東京 2017  
 クロージングレポート

アートフェア東京 2017 は、「Art is Alive -アートに近づく、アートが近づく-」をテーマに実施。国内外 150 ギャラリーが出展、過去最多来場者数を更新するだけでなく、歴史的にも価値の高い高額作品の出品も寄与し、御出展者様の総売上額も過去最高となりました。また内閣府を始め、多くの省庁、自治体及び 65 か国の大使館に御後援を頂き、地域や諸外国との連携も深まり、芸術文化を通じた国際交流の場となりました。さらに、ファッションやテクノロジーなど分野を越えた連携や、ライブパフォーマンス、トークプログラムなどを展開。一方で国内初となる「日本のアート産業に関する市場調査 2016」を実施し、国内外にその調査結果を発信。会場内だけでなくフェアを訪れた国内外のお客様に、東京のアートシーンを楽しんで頂けるような多面的な試みも実施しました。

アートフェア東京は、日常のライフスタイルの中にアートを感じることを当たり前になる未来を目指し、日本のアートマーケットのプラットフォームとして、アート産業の価値を高めていく機会を創出して参ります。

入場者数：57,800人（延人数）（昨年対比 103%）\*過去最多 [参考] 2016年：56,300人

開催期間：2017年3月16日（木） - 3月19日（日）

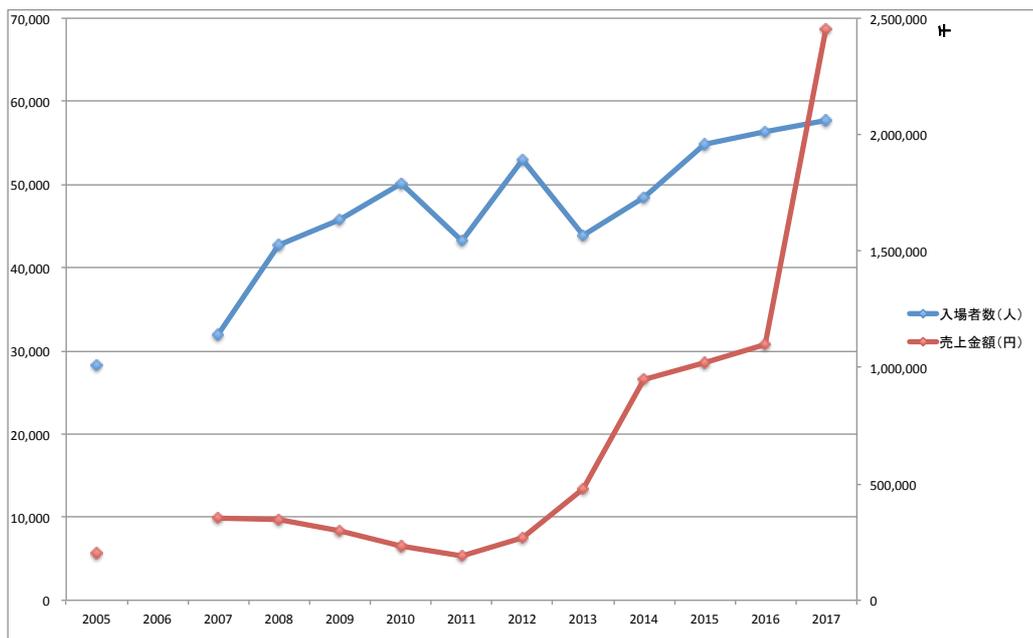
出展ギャラリー：150軒（国内 135軒、海外 15軒、初出展 22軒）

協賛協力企業：19社

後援大使館：65大使館

後援機関：13機関

総売上金額：24億5千万円 ※出展者アンケート(任意)より推計



※リーマンショック 2008年、東日本大震災 2011年

	入場者数(人)	売上金額(円)
2005	28,214	2億
2006	-	-
2007	31,943	3.5億
2008	42,779	3.5億
2009	45,697	3億
2010	50,075	2.3億
2011	43,210	1.9億
2012	53,010	2.7億
2013	43,852	4.8億
2014	48,468	9.5億
2015	54,850	10.2億
2016	56,300	11.3億
2017	57,758	24.5億



■ オープニングセレモニー&レセプション

(アクセスエリア)

アートフェア東京 2017 の御後援機関、御協賛企業、関係省庁の皆様への感謝の意を伝え、盛大で華やかに「アートフェア東京 2017」を開幕しました。オープニングセレモニーでは、安倍昭恵内閣総理大臣夫人、山本幸三内閣府特命担当大臣、宮田亮平文化庁長官、田村明比古観光庁長官に御挨拶頂きました。

【日時】3月16日(木) 18:00-18:30 【場所】アクセスエリア 特設ステージ

【登壇者】

安倍 昭恵 様 (内閣総理大臣夫人)  
山本 幸三 様 (内閣府 特命担当大臣)  
宮田 亮平 様 (文化庁 長官)  
田村 明比古様 (観光庁 長官)  
香里奈 様 (モデル)  
中野 善壽 様 (寺田倉庫 代表取締役社長執行役員 兼 CEO)  
桑原 良 様 (ドイツ銀行グループ チーフ・カントリー・オフィサー)  
森本 浩義 様 (株式会社モリモト 代表取締役社長)  
高橋 雄一 様 (テレビ東京 代表取締役社長)  
來住 尚彦 (アートフェア東京 エグゼクティブプロデューサー)



【ゲスト】(一部)

鈴木 淳司 様 (前経済産業副大臣)  
ふくだ 峰之 様 (衆議院議員)  
平井 たくや 様 (衆議院議員)  
下村 今日子 様  
コシノ ジュンコ 様 (ファッションデザイナー)  
デヴィ スカルノ 様 (インドネシア元大統領夫人)  
アン・ミカ 様 (モデル)  
押切 もえ 様 (ファッションモデル)  
絹谷 幸二 様 (画家)  
スツニ子! 様 (アーティスト)



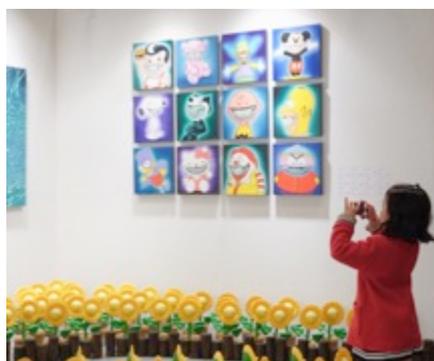
## 【テーマ：Art is Alive – アートに近づく、アートが近づく–】

「アートフェア東京 2017」がテーマに掲げる「Art is Alive – アートに近づく、アートが近づく –」は、作品と人との距離を縮めることだけでなく、作品を介して人と人との距離が本質的に近づいていくことも意味しています。

2016年は日本各地で多くの芸術祭が開催され、地域資源やコミュニティとアートの結びつきが強調された年でもありました。ものづくりやサービスの現場においても、テクノロジー進化や表現の多様化により、アートはその領域を広げ、人々の日常に近づいて来ています。アートは想像力と好奇心を刺激し、言語の壁にとらわれない時間・空間を創り出して人と人を結びます。まさに「コミュニケーションそのもの」といえるでしょう。

日本のアートマーケットと並走を続けてきたアートフェア東京は、様々な入り口を介しアート領域を拡張させてきました。

どこからでも、好きな入り口からアートに近づいてみてください。きっとそれは、アートが近づいている瞬間でもあるはずです。



## 【会場構成：3つのエリア】

- ① 「ギャラリーエリア」：国内外 150 軒のギャラリー・画廊が出展。
- ② 「アクセスエリア」：国内外のアートメディアブースのほか、特別作品展示など最新のアート情報を発信するエリア。AFT カフェラウンジではトークプログラムやワークショップを開催。
- ③ 「ロビーギャラリー」：フェアへの入口となるこのエリアはチケットカウンターのほか「アートに近づく、アートが近づく」をテーマに掲げるブースとして展開しアートがライフスタイルの延長線上にあることを実感できるような無料展示企画実施、特別協力美術館の情報も発信。



## 【様々な企画】

### ■「特設展示会場 Hopin' Pocketful ポケットの希望」

協賛：株式会社モリモト 協力：全国美術商連合会（ロビーギャラリー）



「～日常にアートと希望を、生活空間にアートがある豊かさを～」  
出展ギャラリーから未来に向けて羽ばたく若手作家を中心に、  
10万円から30万円前後の作品75点集め、入場無料で展示販売  
しました。「日本のアート産業に関する市場調査 2016」より、  
コレクターが最初に購入した作品の価格が約30万円であるとい  
う結果もあり、アートを購入する最初の1歩となるような企画  
に。親しみやすいモチーフで統一された作品群は、初めての  
アート購入者にとっても馴染みやすく、作品どうしを比較する  
ことで自分の趣味を見極めることができると好評を得ました。  
価格を尋ねる来場者も多く、更に、若年層の購入者が多かった  
ことは将来的に日本のアートマーケットの成長に期待が持てる  
結果となりました。

キュレーター：小澤慶介

監修：山本豊津

#### 【参加ギャラリー】18軒（ABC順）

青山 | 目黒 / ギャラリー玉英 / HARMAS GALLERY / ギャラリー広田美術 / imura art gallery  
Yoshiaki Inoue Gallery / 小林画廊 / ギャラリーこちゅうきょ / GALLERY 小暮 / 小山登美夫ギャラリー  
丸栄堂 / 水戸忠交易 / 名古屋画廊 / 中長小西 / 日動コンテンポラリーアート / Satoko Oe Contemporary  
SCAI THE BATHHOUSE / 靖山画廊 / しぶや黒田陶苑 / MISA SHIN GALLERY / 古美術 祥雲  
シュウゴアーツ / 秋華洞 / 瞬生画廊 / SNOW Contemporary / STANDING PINE / ケンジタキギャラリー  
東京画廊+BTAP / ギャラリー戸村 / ギャラリーヤマキファインアート

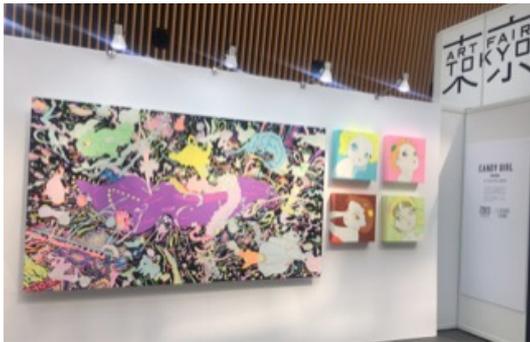
【売上実績】点数：17点（75点中） / 金額：2,377,000円（税別）



## ■ ART FAIR TOKYO × TOKYO GIRLS COLLECTION

企画協力: 東京ガールズコレクション実行委員会 (ロビーギャラリー・アクセスエリア)

アートが社会に多くのイノベーションを起こし様々な産業に影響を与え続けて来たように、ファッションもムーブメントを起こし、大きな影響を与えてきました。それぞれ独自に発展してきたように見える2つの分野は、近年のアーティストとラグジュアリーブランドの積極的なコラボレーションや美術館でのファッションに着目した展覧会の増加により、ボーダーレス化されているのではないのでしょうか。今回、「Art is Alive -アートに近づく、アートが近づく-」をテーマに、「東京ガールズコレクション 2017 SPRING/ SUMMER」とのコラボレーションを展開。アートとファッションの連携は世代を結ぶアクションであり、発信力のある若者がアートに触れる機会を生み出しました。



作品タイトル：Female Hero 作者：Gwag Chul(韓国)

## ■ Ron English 氏のライブペインティング

(ロビーギャラリー・アクセスエリア)

アメリカ出身の作家 Ron English 氏 (ストリートアートのパイオニア的存在。映画『スーパーサイズ・ミー』のマスコットも手がけた。) が、3月16日(木)のオープニングセレモニーから2日間、メインステージで、ライブペインティングを行いました。完成した作品は、3月18日、19日の2日間、ロビーギャラリーで展示されました。

※本作品はオークションで販売し、売上は震災復興や若手作家支援のために寄付される予定です。

### ライブペインティング

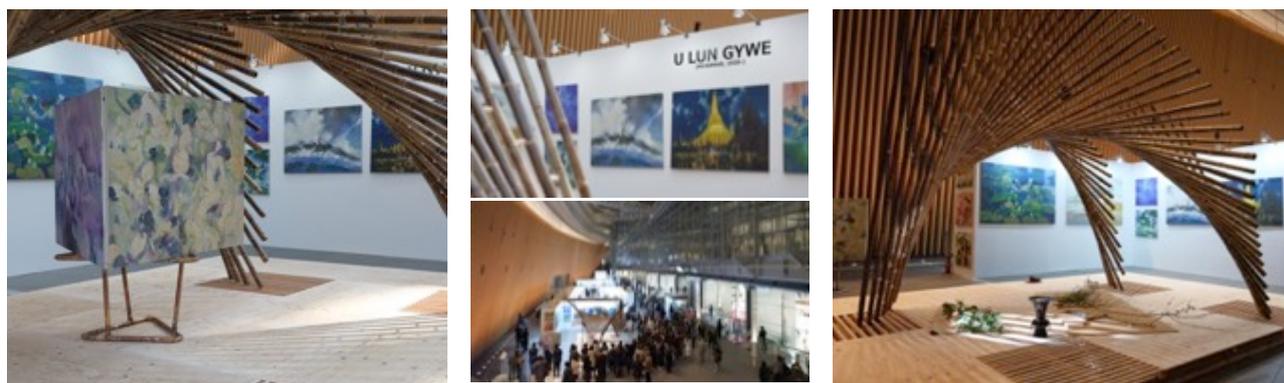
日時：3月16日(木) 18:45～/3月17日(金) 11:00～

場所：「アクセスエリア」内メインステージ



■ 産学官連携企画 ミャンマー・アーティスト× Installation kaguya (ロビーギャラリー)

ミャンマーを代表するアーティスト「U Lun Gywe (ウー・ルン・ジウエ)」氏と「東京大学大学院農学生命科学研究科木質材料学研究室」が設計する「Installation kaguya」がコラボレーション。世界有数の竹の産地であり豊かな自然に囲まれた神秘的な国、ミャンマーを代表する抽象画家U Lun Gywe氏は、のどかなミャンマーの風景、美しい踊り子たち、そして疾走する馬たちを描き続けており、その作品が「Installation kaguya」の中に展示されました。「Installation kaguya」のテーマは、日本最古の物語とされている「竹取物語」。日本唯一の模様からミラクルバンブーと呼ばれる虎斑竹（竹虎）で構成された最先端の木質構造学からなるパビリオンは、東京国際フォーラムを手がけた建築家、ラファエル・ヴィニオリの空間と交わり、視覚的に面白い空間を創り出しました。3月16日（木）のオープニングセレモニーでは、草木に使える花土（はなのふ）として、大自然や神仏に花を献じる珠寶（しゅほう）氏による献花が行なわれました。



■ ランボルギーニのアートカー、スツニ子！氏とコラボレーション (ロビーギャラリー)

ランボルギーニ・ウラカン RWD スパイダーが、アートフェア東京のアートカー史上初の女性アーティスト、スツニ子！氏とコラボレーションによって、唯一無二のアートカーとして登場。コンセプトは、クラゲやサンゴの DNA を蚕に組み込むことで生まれる「光るシルク」をつかったスツニ子氏の「TRACEFLORA」。遺伝子工学や AI などの先端科学の台頭により、人・マシン・動物、全ての種が越境し融け合っていく「TRACEFLORA」の世界観で車体を覆いました。

ランボルギーニと、女性テクノロジーアーティストのコラボレーションは、「パワーウーマン」と称され女性の社会進出が目覚ましい今の”時代”にふさわしいコラボレーションとなり、圧倒的な存在感から、誰もが足を止め撮影し、過去最高の SNS の拡散効果となりました。様々なメディアからの注目度も高く、分野横断的な取り組みとして、大きなプロモーション成果を得ました。



## ■ PROJECTS

協賛：ドイツ銀行グループ（ギャラリーエリア）

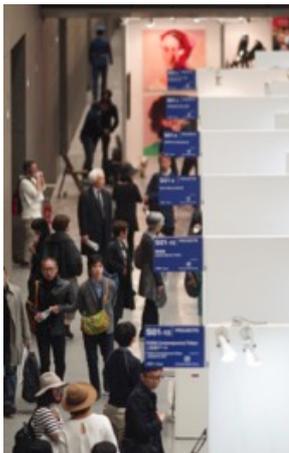
現代アートギャラリーを中心とした「South Wing」内に設けられるセクション。今回 12 ギャラリーが各 1 組の作家を選出し個展を展開。ジャンルや世代を超えた 12 組の作家の凝縮された世界観を見比べることができるセクションとなりました。決まったサイズのブースで個展形式の展示が一行に並び、前回に続き好評を博し、一般来場者向けのガイドツアーを実施。各ツアーテーマに合わせた 4 ブースを巡り、見どころをギャラリストとともに紹介しました。

### PROJECTS 出展ギャラリー（出展作家）

FUMA Contemporary Tokyo | 文京アート（金巻芳俊）  
雅景雉（詫摩昭人）  
HARMAS GALLERY（高橋大輔）  
四季彩舎（山村龍太郎毅望）  
KEN NAKAHASHI（エリック・スワーズ）  
サテライト・アート・ラボ（森 勉）  
Satoko Oe Contemporary（金氏徹平）  
SHUMOKU GALLERY（富永祥烟）  
SNOW Contemporary（HITOTZUKI）  
Takashi Somemiya Gallery（奥田栄希）  
ギャラリーヤマキファインアート（中山明日香）  
Yoshimi Arts（館 勝生）



### 「PROJECTS を巡るガイドツアー supported by Deutsche Bank Group」



日 程：3月18日（土）

ツアー①：11:30 - 「身体性と偶然性」（12名）

「近代絵画から脱皮し、絵の具をキャンバスに乗せるアクションに意識を向けた時、即興的な面白さが生まれます。筆のコントロールと偶然性の間のユニークなバランスに注目です。」

ツアー②：12:30 - 「ポップと再構成」（12名）

「グローバル化する世界で大衆にアプローチし、そこから分解、再構成する作家の構成力と、遊び心を紹介します。」

ツアー③：13:30 - 「分析と提案」（15名）

「画一化が進む現代の矛盾をとらえ、客観的な視点を向けることで、新たな提案が生まれます。作家の批判的な思考について掘り下げます。」

## ■ 公益財団法人 ポーラ美術振興財団

（ギャラリーエリア）

公益財団法人 ポーラ美術振興財団が取り組む「若手芸術家の在外研修に対する助成」を受けた、4名の気鋭の作家のグループ展をポーラ美術館・木島俊介館長による監修で展開。同4名の企画展が「感受と創発」というテーマのもと、ポーラミュージアムアネックス（銀座）にて開催され（2017/3/3~3/26）アートフェア東京 2017 とポーラ美術振興財団のスペースを繋ぐ企画となりました。

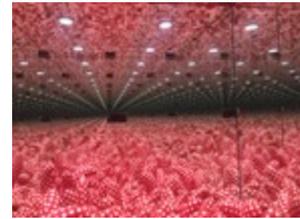
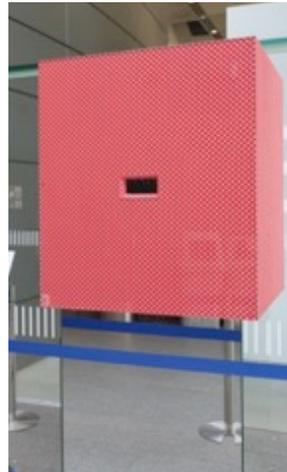


## ■ アクセスエリアでの大型作品展示

(アクセスエリア)

・草間彌生の代表作「Mirrored Room」  
作品側面の“覗き窓”から中を覗くと、鏡に囲まれた一面に赤いドットのソフト・スカルプチュアが生い茂る空間が広がります。

・KAWS とジャン=ミシェル オトニエル  
NY の街角の広告にバツテン目のキャラクターを描き込んだ作品で有名なストリートアーティスト KAWS と、フランスを代表するコンテンポラリーアーティスト、ジャン=ミシェル オトニエルの作品が展示されました。



## ■ Asian Art Award 2017 supported by Warehouse TERRADA



日本からアジア、またアジアから世界へと、今後益々国際的な活躍が期待される若手アーティスト支援を目的に、現代アートアワード「Asian Art Award supported by Warehouse TERRADA」(主催：一般社団法人 アート東京／特別協賛：寺田倉庫／協賛：Helutrans-Terrada 株式会社／協力：文化庁)創設。第一回目となる本アワードは、国際的な視点を持つ若手キュレーター選考委員 5 名が、それぞれ国内を拠点に活動する 5 組のアーティストを推薦し、総計 25 組の候補アーティストの中からファイナリスト 5 組を選出、「アートフェア東京 2017」会場内で発表しました。

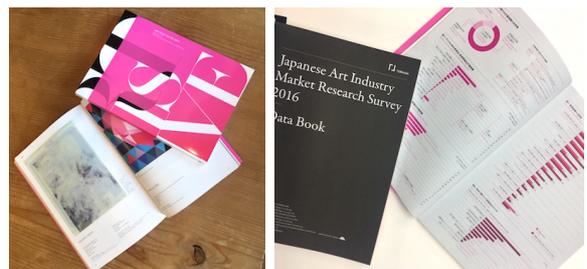
### 【ファイナリスト】

谷口暁彦 (Akihiko Taniguchi)  
松川朋奈 (Tomona Matsukawa)  
山本高之 (Takayuki Yamamoto)  
山城知佳子 (Chikako Yamashiro)  
contact Gonzo (コンタクト ゴンゾ)

## ■ カタログの刷新と「日本のアート産業に関する市場調査 2016」

アートフェア東京の公式カタログがデザインを一新。今回のテーマが反映された表紙は好評を博し、またコンテンツにも変化が。

一般社団法人 アート東京が実施した「日本のアート産業に関する市場調査 2016」より、その市場規模を 3,341 億円と推計。その分析結果を「アートフェア東京 2017」と連動し公表、フェア公式カタログに和英でオリジナルレポートが掲載されました。



■ トークプログラム（参加無料）

（アクセスエリア・AFT カフェラウンジ）

3月17日（金）

- 「Art Media Meeting」 15:30 – 17:00 入場者数：40名



アジアを中心としたアート雑誌やWEBメディアの編集長を招き、「各国のメディアからみた現在の東京のアートシーン」をテーマでの、意見交換。

【登壇】Zhang Ran (art net/DIRECTOR OF GREATER CHINA,PUBLISHER, ARTNET NEWS CHINA)、Kim Boggi (Art in Culture/編集主幹)、Zheng Wei (CANS/編集長代理)、Wu Jin (Hi ART/編集長)、吉田晃子 (芸術新潮/編集長)、一井義寛 (アートコレクターズ/編集者)、墨屋宏明 (アートフェア東京マーケティング&コミュニケーションディレクター)

3月18日（土）

- とに～&いのっちの「アートフェア東京でちくちく」 13:00 – 14:00 入場者数：40名



芸術新潮誌に連載の「マンガ展評 ちくちく美術部」とに～氏と、伊野孝行氏による公開トーク。

【登壇】とに～ (アート・テラー)、伊野孝行 (イラストレーター)、吉田晃子 (芸術新潮 編集長)

- 「2017年芸術祭の楽しみ方～街をまるごと楽しむ都市型芸術祭」 14:30 – 15:30 入場者数：40名



国内外共に大型芸術祭が目白押しの2017年。都市を舞台に開催される札幌国際芸術祭2017とヨコハマトリエンナーレ2017関係者による、アートと街歩きを楽しめる都市型芸術祭の楽しみ方についてのトークプログラム。

【登壇】佐藤直樹 (アートディレクター/札幌国際芸術祭2017企画メンバー)、帆足亜紀 (横浜美術館国際グループグループ長/横浜トリエンナーレ組織委員会事務局 プロジェクト・マネージャー)、山本敦子 (アートプロデューサー/チラシミュージアム ディレクター)

- 「現代アートをめぐる課題と芸術賞のゆくえ～Asian Art Award supported by Warehouse TERRADA 創設特別トーク～」

17:30 – 18:45 入場者数：60名



アジアから世界に羽ばたき活躍するアーティスト像やアートアワードの目指す姿について、主催や選考員、審査員それぞれの専門的視点から議論。

【登壇】秋元雄史 (本アワード審査員/東京藝術大学大学美術館 館長/金沢21世紀美術館 館長)、山峰潤也 (本アワード選考委員/水戸芸術館現代美術センター 学芸員)、高橋龍太郎 (本アワード審査員/精神科医/アート・コレクター)、宮津大輔 (本アワード審査員 アート・コレクター/京都造形芸術大学 客員教授)、小澤慶介 (本アワード ディレクター/キュレーター)

■ フェアを基点に東京のアートシーン発信の情報誌「Art Market Tokyo」を配布

「アートフェア東京2017」来場者に、アートフェア東京2017会場のほか、銀座、六本木、表参道、清澄白河、天王洲など都内各所に広がるギャラリーや美術館・アートのスペースの地図、そして展覧会情報を紹介するフリーペーパー「Art Market Tokyo」を配布しました。またフェア会場(場所：有楽町)と、注目のアートのスポットが集まる水辺の街、天王洲をつなぐ「アートフェア東京シャトルバス」も運行。



ギャラリーズ				ギャラリーズ			
	ギャラリー名	ブースNo.	都市	ギャラリー名	ブースNo.	都市	
A	Gallery 38	S11	東京	水戸忠交易	N27	東京	
	アンドーギャラリー	S21	東京	古美術宮下	N42	東京	
	ギャラリー アンザイ	S49	東京	みぞえ画廊	N70	福岡/東京	
	青山目黒 x ぎやらり壺中天	N51	東京	ミヅアートギャラリー	N10	東京/シンガポール	
	ART100 BEIJING GALLERY	S28	北京/香港/ニューヨーク/パリ/ロンドン	古美術水田	N33	横浜	
B	Gallery Art Composition	S13	東京	GALLERY 門馬	S09	札幌	
	Artglorieux GALLERY of TOKYO	N54	東京	村越画廊	N04	東京	
	アサクサ	S05	東京	名古屋画廊	S17	名古屋	
	gallery A-zone	S31	岡山	中長小西	N66	東京	
	ボヘミアンズ・ギルド	N75	東京	アート・コレクション中野	N16	名古屋	
C	galerie bruno massa	N23	パリ	古美術 奈々八	N35	東京	
	Galerie Burgerstockersenger	S22	チューリッヒ (スイス)	成山画廊	S23	東京	
	ギャラリーセラー	N09	東京	靖雅堂 夏目美術店	N49	東京	
	Galleria Col	S35	大阪	日動コンテンポラリーアート	S18	東京	
	DEP ART GALLERY	S39	ミラノ	日動画廊	N03	東京/名古屋/福岡/軽井沢/パリ/台北	
D	ギャラリードゥボワソン	S16	東京	NODA CONTEMPORARY	S29	名古屋	
	GALLERY エクリュの森	N85	三島 (静岡県)	NUKAGA GALLERY	N53	東京/大阪/ロンドン	
	ギャラリーまぎぬ	N84	岐阜	ギャラリーオリム	N86	東京	
	永善堂画廊	N50	東京	ギャラリー麟	N82	東京	
	Eugene Gallery	S48	ソウル	rin art association	S33	高崎 (群馬)	
E	エキジビション・スペースAPJ	N90	東京	彩鳳堂画廊	N08	東京	
	GALERIE FRANCESCA	S43	モンテパル/マンダリオン(フィリピン)	埼玉画廊	N05	川口 (埼玉)	
	藤アート	N39	名古屋	SAKURADO FINE ARTS	N10	東京	
	銀座 黒田陶苑	N58	東京	SCAI THE BATHHOUSE	S04	東京	
	ギャラリー玉英	S12	東京	靖山画廊	N07	東京	
F	H-art Beat Gallery	N78	東京	SH ART PROJECT	S30	東京	
	ギャラリー・ハシモト	S40	東京	しぶや黒田陶苑	N38	東京	
	鳩ノ森美術	N88	東京	至峰堂画廊	N56	東京/大阪	
	ギャラリー広田美術	N17	東京	MISA SHIN GALLERY	S20	東京	
	HIYOSHIDO	N45	富山	新生堂	N83	東京/ベルリン	
G	伊万里美術店	N32	松山	古美術 祥雲	N31	東京	
	imura art gallery	S03	京都	シュウゴアーツ	S06	東京	
	IN-ART SPACE	S38	北京	秋華洞	N67	東京	
	ギャラリー インカブ   京都	S26	京都	春風羽画廊	N55	東京	
	Yoshiaki Inoue Gallery	S25	大阪	観生画廊	N48	東京	
H	井上オリエンタルアート	N41	東京	現代美術 紳居	N59	京都	
	International Gallery~selected by MITSUKOSHI	N89	東京	ギャラリー・セントアイヴス	N60	東京	
	Gallery Irritum	S36	テグ (韓国)	STANDING PINE	S27	名古屋	
	アルテラシカ by 石黒ギャラリー	N18	東京	Star River Gallery	N52	上海	
	石黒商店	N40	金沢	Gallery Suchi	N11	東京	
I	いつき美術画廊	N79	東京	角匠	N29	東京	
	JPS GALLERY HONG KONG	N21	香港	t.gallery	N57	東京	
	KAMIYA ART	N69	東京	大雅堂	S32	京都	
	金沢卯辰山工芸工房	N64	金沢	太陽画廊	N71	大阪	
	加島美術	N30	東京	たけだ美術	N19	東京	
J	加多加古	N24	東京	ケンジタキギャラリー	S19	名古屋/東京	
	Kato Art Duo	N22	シンガポール	瀬川画廊	N87	大阪	
	川田画廊	N81	神戸	ギャラリーためなが	N06	東京/パリ/大阪	
	岸本画廊	N77	東京	美術工芸 丹中	N25	大阪	
	ギャラリー北岡技芳堂	N68	名古屋	GALLERY TARGET	S46	東京	
K	小林画廊	N02	東京	画廊たづ	N72	京都/名古屋	
	ギャラリーこちゅうきよ	N36	東京	THE ECHO by SEIBU-SOGO	S41	東京	
	GALLERY小暮	N01	東京/ニューヨーク	Gallery Togeisha	N43	東京	
	Yukiko Koide Presents	N20	東京	東邦アート	N80	東京	
	小宮山書店	N74	東京	ときの忘れもの	N15	東京	
L	Gallery 音楽美術	S08	東京	東京画廊+BTAP	S24	東京/北京	
	小山登美夫ギャラリー	S15	東京	ザ・トルーマン コレクション	N12	東京/ニューヨーク	
	GALLERY KUGO	N61	富山	ギャラリー戸村	N13	東京/ソウル	
	画廊くにまづ青山	N76	東京	富山ガラス工房	N63	富山	
	Lawangwangi	S37	バンドン (インドネシア)	gallery UG	S10	東京	
M	LINK GALLERY	S47	北京	ART UNDERGROUND	S44	マニラ	
	利電アーツコレクション	S07	東京	浦上善穹堂	N34	東京	
	LYFF Visual Art Center	S45	北京	渡邊三方堂	N37	東京	
	Gallery M	N62	富山	館・游彩	N73	東京	
	前坂晴天堂	N26	東京	柳ヶ瀬画廊	N46	岐阜	
N	丸栄堂	N47	東京	YOD Gallery	S42	大阪	
	松本松栄堂	S14	京都	万画廊	N14	東京	
	藤山龍泉堂	N28	東京	Y's Gallery	N44	東京	
	みんなのギャラリー	S34	東京	蔵丘洞	N65	京都	

PROJECTS				PROJECTS			
	ギャラリー名	ブースNo.	都市	ギャラリー名	ブースNo.	都市	
F	FUMA Contemporary Tokyo   文京アート	S01-12	東京	四季彩舎	S01-01	東京	
G	雅景維	S01-10	京都	SHUMOKU GALLERY	S01-04	名古屋	
H	HARMAS GALLERY	S01-09	東京	SNOW Contemporary	S01-06	東京	
N	KEN NAKAHASHI	S01-08	東京	Takashi Somemiya Gallery	S01-11	東京	
O	Satoko Oe Contemporary	S01-03	東京	ギャラリーヤマキファインアート	S01-07	神戸	
S	サテライト・アート・ラボ	S01-02	東京	Yoshimi Arts	S01-05	大阪	

## ■アートフェア東京 2017 開催概要

名称：アートフェア東京 2017 (英語表記:ART FAIR TOKYO 2017)

主催：一般社団法人 アート東京/テレビ東京/BSジャパン

企画内容：国内外コマースギャラリーによる美術品の展示及び販売

開催日程：2017年3月16日(木)～3月19日(日)4日間

ファーストチョイス	3月16日(木)	16:00～18:00
オープニングプレビュー	3月16日(木)	18:00～21:00
プレスプレビュー	3月16日(木)	16:00～21:00
特別先行入場	3月17日(金)	11:00～13:00
一般会期	3月17日(金)	13:00～20:00
	3月18日(土)	11:00～20:00
	3月19日(日)	10:30～17:00

会場：東京国際フォーラム・ホールE及びロビーギャラリー(東京都千代田区丸の内3-5-1)

出展者数：150軒(ギャラリーズ：138軒、プロジェクト：12軒)

入場料：1DAYパスポート(当日)2,800円(税込)/1DAYパスポート(前売り)2,300円(税込)

後援：内閣府/外務省/経済産業省/文化庁/観光庁

アフガニスタン・イスラム共和国大使館	ドイツ連邦共和国大使館	ニカラグア共和国大使館
在日アルゼンチン共和国大使館	ホンジュラス共和国大使館	ノルウェー王国大使館
駐日アルメニア共和国大使館	駐日ハンガリー大使館	パキスタン・イスラム共和国大使館
オーストラリア大使館	インドネシア共和国大使館	パラオ共和国大使館
在日アゼルバイジャン共和国大使館	イラン・イスラム共和国大使館	駐日パナマ共和国大使館
駐日バーレーン王国大使館	駐日アイルランド大使館	ペルー共和国大使館
バングラデシュ人民共和国大使館	イスラエル大使館	駐日フィリピン共和国大使館
ベリーズ大使館	駐日イタリア大使館	ロシア連邦大使館、ロシア連邦交流庁
ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館	駐日ジャマイカ大使館	サモア独立国大使館
駐日ブラジル大使館	ケニア共和国大使館	サンマリノ共和国大使館
ブリティッシュ・カウンシル	駐日韓国大使館 韓国文化院	セネガル共和国大使館
駐日ブルガリア共和国大使館	駐日ラトビア共和国大使館	シンガポール共和国大使館
ブルキナファソ大使館	レバノン共和国大使館	スペイン大使館
カナダ大使館	レソト王国大使館	スイス大使館
チリ共和国大使館	マケドニア共和国大使館	シリア・アラブ共和国大使館
中華人民共和国駐日本国大使館文化部	マダガスカル共和国大使館	タイ王国大使館
コロンビア共和国大使館	マレーシア大使館	東ティモール民主共和国大使館
デンマーク大使館	在日メキシコ大使館	チュニジア共和国大使館
ジブチ共和国大使館	モザンビーク共和国大使館	アメリカ合衆国大使館
ドミニカ共和国大使館	駐日ミャンマー連邦共和国大使館	ウズベキスタン共和国大使館
フィンランドセンター	ナミビア共和国大使館	
在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本	オランダ王国大使館	

日本経済新聞社/文化放送/日本赤十字社/京都府/島根県/京都市/金沢市/富山市

協賛：寺田倉庫/ドイツ銀行グループ/株式会社モリモト/株式会社三井住友銀行

企画協力：東京ガールズコレクション実行委員会

パートナーエアライン：全日本空輸株式会社

メインパートナーホテル：パークホテル東京

コーポレートメディアパートナー：毎日新聞社

コーポレートパートナー：公益財団法人 ポーラ美術振興財団

オフィシャルファニチャー：株式会社イロコデザインジャパン

協力：ラーソン・ジュール・ニッポン株式会社/ランボルギーニ青山/ラクジュアリーカード/  
株式会社 モトックス/旭酒造株式会社/ボンデザール/レス&モア オーダーメイド洋服/  
アークヒルズクラブ/六本木ヒルズクラブ/スイス政府観光局

特別協力美術館：出光美術館/群馬県立近代美術館/サントリー美術館/戸栗美術館/原美術館/ポーラ美術館  
三菱一号館美術館/森美術館/横浜美術館

公式サイト：<http://artfairtokyo.com>

お問い合わせ：一般社団法人 アート東京

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-9-12 飯倉台ビル4

[2017/3/13 現在]